

サークル紹介

コスモス アートフラワー

世界に一つだけの
自分の“花”を作る

布で形を作り色を染めてオリジナルの花を作るアートフラワー。このサークルでは一人ひとりの好みや個性を尊重するため、自然と気楽な気持ちになり、自由な作品が出来上がります。完成したときの喜びはひとしお。作品は展覧会へ出品したり、結婚式の花嫁へ贈ったりして皆さんにも喜ばれています。

時 第2・4火曜日午前10時～正午
場 桜井公民館 月 月額1500円 問 神谷梅代さん(☎99)2642)



時とき 場ところ 月会費・入場料など 定 定員・募集人数
申申し込み方法など 問 問い合わせ先 対 対象 他 その他

第13回 新春書展

時 1月6日(土)～8日(月)午前9時～午後5時(6日は午前10時から、8日は午後4時まで)
場 文化センター 問 稲垣信賢さん(☎99)1651)

相続・遺言相談会

行政書士による無料の相談会です。
時 1月20日(土)午後1時～5時
場 市民活動センター 問 開田稔さん(☎090)5113)7477)

フラメンコ教室

フラメンコのリズムと一緒に楽しみませんか。
時 毎週木曜日 初級→午前9時15分～ 中級→午前10時15分～
場 東部公民館 問 ペーニャフラメンコ肥田沙朋さん(☎72)1195)

ふれあいダンスパーティー

自由参加で楽しくダンス。収益金の一部を善意銀行へ預託。
時 1月14日(日)午後1時30分～4時
場 中部公民館 月 500円
問 石川ただしさん(☎090)6338)3739)

新春ダンスパーティー

初心者でも大歓迎です。収益金の一部を善意銀行へ預託。
時 1月28日(日)午後1時15分～4時
場 総合福祉センター 月 500円 問 山本幹雄さん(☎76)5510)

社交ダンスの金曜会

みんなで楽しく踊りましょう。初心者も大歓迎です。
時 毎週金曜日午後1時30分～3時30分
場 総合福祉センター 対 市内在住者 月 月額2000円 問 本山さん(☎77)0296)

第33回 創美会新春展日本画

会員19人が2点ずつ作品を発表します。
時 1月19日(金)～21日(日)午前9時～午後5時(19日は午前10時から、21日は午後4時まで)
場 市民会館 問 同会事務局(☎76)5043)

むすび座西遊記^{じく}一天竺への道

まるで生きているみたいに動きまわる！大型人形劇。
時 2月12日(日)午後2時
場 文化センター 対 3歳以上 月 2800円(指定席) 問 NPO法人おやこでのびっこ安城(☎77)7085)

和楽器に親しもう

琴は生田流、三絃は野沢流です。初心者も歓迎します。
時 第2・4水曜日午後1時～4時30分
場 作野公民館 月 月額2000円 問 近藤英代さん(☎97)6067)

市民のひろば

ANJO SQUARE

市民伝言板

やさしい中国語

元鄭州電気大学教授、朱慧萍さん講師による講座です。
時 毎週土曜日 初級→午後1時～2時30分 中級→午後2時30分～4時
場 作野公民館 月 近藤英代さん(☎97)6067)へ

未来の主役

第22回日本大衆音楽祭

チャイルド部門(小学生以下)優秀賞

錦町小学校3年
野沢美耶さん(朝日町)



全国ののど自慢が集い、歌の国体とも呼ばれている「日本大衆音楽祭」のチャイルド部門で優秀賞を受賞しました。地方大会で優勝し、県代表として出場した今回、「ほかの人がとても上手だったので、まさか選ばれるとは思わなかった。発表のときはうれしくて泣いちゃった」と振り返ります。

すでに3歳のころから歌が大好きで、カラオケの講師をしていた母や音楽好きの兄の影響から、自然と音感が身についていったそうです。



大会当日歌った曲は、お酒のCMでも有名な「少し愛して… 永く愛して」。ちょっと大人びたこの曲を抜群の歌唱力と表現力で歌いこなし審査員の高い評価を得ました。

普段は「aikoが大好き！」「人前で歌うのは恥ずかしい」という普通の小学生。しかし、ひとたび舞台上に立てばプロも注目するスター候補の誕生です。

元気っ子アルバム



牧野もかちゃん
(11か月)

あけましてオメデトウ☆もかは来月1才になります。早く歩けるようになってお兄ちゃんたちといっぱい遊びたいなー！ガンバルぞ！
(牧野篤真さん・祥子さんのお子さん／堀内町)

三浦萌々花ちゃん
(8か月)



萌々花は歌が大好き♡いつもママやパパの歌を聴いて手拍子するの。一番のお気に入り「こぶたぬきつねこ」です♪
(三浦真治さん・佳代さんのお子さん／小堤町)



石川心暖ちゃん
(1歳)

はじめまして、心暖です☆パパやママのことが大好き！まだまだ甘えんぼうだけど、もうすぐお姉ちゃんになります☆
(石川誠力さん・真理子さんのお子さん／里町)



かつのり
大西功規さん

(法連町)

新成人を対象に募集した「はたちの願い」作文で優秀賞を受賞。現在、金沢工業大学工学部航空システム工学科在学中。

「自分の目標や将来の夢をもう一度明確にしようと思い応募しました。これを機に、今自分がやらなければならないことが明らかになったので、有言実行できるよう、日々大切に、頑張っていきたいです。」

そのほかの
優秀賞の皆さん

加納愛美(古井町)、中村理恵(新田町)、杉浦舞(小川町)、合川奈保子(大東町)、李静(桜井町)

<順不同/敬称略>

大学生活の目標、人生の夢

大西功規

私は高校生のときからの夢がある。それはF1のエンジニアになることだ。F1に興味を持ったのは中学生の時だったが、その時はただF1で働く人たちはカッコいいなという憧れでしかなかった。F1のエンジニアになろうという考えはなかった。しかし、高校時代のある日、自分の人生を考える時が来た。それは、初めて鈴鹿サーキットでF1を観た日だ。目の前を時速300kmで走るマシンを目の当たりにし、私は動悸が止まらなかった。あのエンジン音、洗練されたマシンのフォルム、そしてチーム一体となって勝利を目指すドライバーとエンジニアたち。その空間すべてに感動を覚えた。もし、あの中に加わって自分の手でマシンをデザインし、そのマシンが優勝する瞬間に立ち会えたら、どれくらいの喜びを味

わえるのだろうか、と思った。その時、F1のエンジニアは単なる憧れから、自分の人生の目標へと変わった。

目標ができると私の中で行動が変わった。無為な日常を送っていた今までの自分はもういなかった。専門文献を読みあさり、どのような勉強や研究をすればF1のエンジニアになれるのか徹底的に調べた。時には企業にメールを送って質問をぶつけたこともあった。ある日、ふと手に取った専門雑誌に外国人のエンジニアが紹介されていた。経歴の欄には航空宇宙学科卒業と書かれており、マシンのデザインをするためには航空系の大学で勉強することも一つの方法であると知った。そして、航空系の学科をもつ金沢工業大学を目指すそうと考えたわけである。

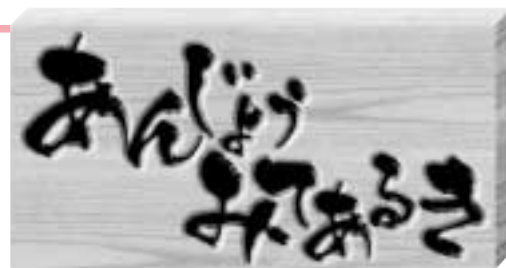
私がこの大学を選んだのには他にも理由があった。それは「夢考房」という大学公認フォーミュラカープロジェクトの存在だ。そこでは、毎年9月中

旬に開催される学生フォーミュラ大会に出場するために、フォーミュラスタイルの車両を自分たちの手で設計・製作している。F1とまではいかないが、設計・製作といった一連のプロセスがF1と似ており、大変魅力的だった。当然、大学に入学すると同時にすぐ参加することになった。

プロジェクトの作業は大変である。車両製作が始まると毎日作業に没頭する。夏休みに入ると、夜中まで作業が終わらず気付けば朝日が出ていた、ということも幾度とあった。そのプロジェクトに入ってから約1年半が経つが、ものづくりの難しさを今でも実感している。メンバー一人ひとりが、任せられた仕事を正確に、そして創造的にこなさなければ強いマシンは出来ない。そして常に自分の作業に対して、高いプライドとモチベーションを持つことを意識せねばならない。また、プロジェクト内は車両製作のための機構ごとに

いくつか班に分かれているのだが、製作の流れ上一つの班だけが勝手に進めることは出来ない。各班が担当している部品が他の班と干渉しないのか、製作に遅れをとりそうな班はないか、など常にチーム全体を見渡すマクロ的な視点も必要になってくるのである。

最初にも書いたが、私にはF1のエンジニアになるという大きな夢がある。そのためにまず、学生フォーミュラ大会で優勝し海外大会に行くことを近い目標として掲げ、日々努力している。また、来年度からは大学で航空流体力学などエンジニアになるために必須な科目がある。卒業してから直ぐにF1のエンジニアになれるわけではないが、これから学ぶ専門科目やプロジェクト活動を頑張っていけば可能性は充分にある。F1のエンジニアという夢を叶え、いつの日か自分がデザインしたマシンがチェッカーフラッグを受ける瞬間をこの目で見たい。



その33

桜井神社のクロマツと猪目懸魚

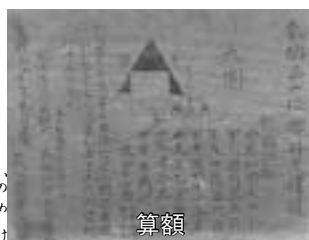


今月の案内人
石川栄三さん(堀内町)



常緑樹として冬も緑の葉を茂らせることから、若さ・不老長寿の象徴とされる松。クロマツは「市の木」でもあります。

ここ桜井神社の長い参道に沿って、人々を拝殿へ導くように生い茂るクロマツの松並木。1959(昭和34)年の伊勢湾台風で何本もの松が根こそぎ倒れましたが、今は樹高25mに及ぶ大きな木や、細い木を含め300本程が茂っています。毎月2と7のつく日に開かれる「二七市」では、この松並木のもとに露店が並びます。この神社の由来は、とても古く、平安時代以前にさかのぼります。貴



重なる文化財も残されており、拝殿には、猿が馬を引く様を描いた大きな絵馬や日本独自の数学「和算」を習得した人物が難問を解き神社に奉納した「算額」などがあります。

さて、右下の本殿の写真をご覧ください。そこには「猪目懸魚」という装飾が施されています。破風の拝みなどにつるす飾りを「懸魚」といい、下部にハート形の穴を繰り抜いたもの



を猪目懸魚といいますが、皆さんの猪の目が似ているところから「猪目懸魚」と名がついたとのことですが、皆さんは猪に見えますか？

今年の干支は「亥(いのしし)猪」です。「猪突猛進」という言葉があるように、勢いあるイメージが強い動物。新しい年は、この猪のように、躍動的に目標に向かって進んでいきたいものですね。